

受験上の配慮申請に必要な様式（各様式は39ページ以降にとじ込み）

前ページも併せて参照の上、申請に必要な様式を準備してください。

※ 様式名の最初に付いている「●」及び「○」の記号は、「●」が各区分にて提出が必須となる様式、「○」が希望する配慮事項によって提出の有無が異なる様式です。

※ 受験上の配慮申請書等の申請書類は、記入後、必ずコピーを取り、志願票のコピーとともに、大切に保管しておいてください。申請書類は一切返却できません。

※ 各種様式をホームページ（→裏表紙）からダウンロードして印刷する場合は、両面印刷・片面印刷のどちらでも構いませんが、片面で印刷した際は、必ず両面分（2枚）を送付してください。

区分	必要な申請書類	掲載ページ
視覚障害	●令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験上の配慮申請書(両面)	39・40
	●診断書(視覚障害関係)(両面) ※『点字解答』希望者は、「校長による点字学習の証明」(任意の様式)でも可	43・44
	○状況報告書(試験時間延長(1.3倍))(両面) ※『試験時間延長(1.3倍)』希望者のみ提出	53・54
聴覚障害	●令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験上の配慮申請書(両面)	39・40
	●診断書(聴覚障害関係)(両面)	45・46
	○状況報告書(リスニング免除)(両面) ※『リスニングの免除』希望者のみ提出	55・56
肢体不自由	●令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験上の配慮申請書(両面)	39・40
	●診断書(肢体不自由関係)(両面)	47・48
	○状況報告書(試験時間延長(1.3倍))(両面) ※『試験時間延長(1.3倍)』希望者のみ提出	53・54
	○状況報告書(代筆解答)(両面) ※『代筆解答』希望者のみ提出	57・58
病弱・その他	●令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験上の配慮申請書(両面)	39・40
	●診断書(病弱関係・その他)(両面)	49・50
	○状況報告書(別室の設定)(両面) ※『別室の設定』希望者のみ提出	59・60
発達障害	●令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験上の配慮申請書(両面)	39・40
	●診断書(発達障害関係)(両面)	51・52
	●状況報告書(発達障害関係)(両面)	61・62

出願前申請期間(8月2日(月)～9月24日(金))に受験上の配慮を申請した者のみ「出願時」に提出

全区分	●令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 受験上の配慮出願前申請済届 ※出願前に申請した場合のみ、出願時に「出願書類」とともに提出	41
-----	--	----

両面印刷調整用の  
存在しないページ

## 令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 受験上の配慮申請書(表面)

※ 太枠の中のみ、黒又は青のボールペンで丁寧に記入してください。

	①高等学校等コード	②整理番号	カタカナ記入 (姓と名の間は1マスあけ、濁点及び半濁点は1マスを使用してください。)														
	1 2 3 4 5 6	7 8 9 10	⑥														
			11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28														
③出身学校名	高等学校 学 校		氏名 漢字等記入(できるだけ、志願者が自筆で記入してください。)														
			名														
④卒業見込み・卒業の別	卒業見込み1	卒業2	⑤課程	全日制又は 定時制 0	通信制1	⑦生年月日	昭和1	平成2	年 月 日	⑧性別	男1	女2					
⑨志願者の 現住所・ 電話番号	〒 □□□-□□□□											電話番号 □ - □					

※ 卒業見込みの場合は、校長名を記入し、職印を押印の上、  
教員(学級担任等)の氏名及び連絡先の電話番号を記入してください。

⑩記入者名											印
教員(学級担任等)の氏名											電話番号 □ - □

過年度のもののなので、  
使用しないでください

※ 「点字解答」・「代筆解答」・「拡大文字問題冊子(22ポイント)の配付」を希望する者は、受験科目を○で囲んでください。

⑪ 「点字解答」・「代筆解答」・「拡大文字問題冊子(22ポイント)の配付」を希望する者の受験科目

教科	科目	地理歴史						公民			数 学				理 科 ①				理 科 ②				外 国 語								
		国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
		1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5
		155	156 - 157						158		159				160 - 161				162 - 163				164								

※ 「障害等の種類と程度」及び「受験に際して希望する配慮事項」は、裏面に記入してください。  
記入の済んだ申請書はコピーを取り、志願票のコピーとともに大切に保管しておいてください。

大学入試センター記入欄 1																
⑫	165	166	167	168	169	170	⑬		⑭		⑮					

※ 大学入試センター記入欄1～3には何も記入しないでください。 独立行政法人大学入試センター

# 令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 受験上の配慮申請書（裏面）

※ 該当する「□」の中を、黒又は青のボールペンで塗りつぶしてください。（塗りつぶすのが難しい場合は、レなどチェックで表示してください。）

障害等の種類と程度												
⑯ 視覚障害			⑰ 聴覚障害			⑱ 肢体不自由			⑲ 病弱	⑳ 発達障害	㉑ その他	
点字による教育を受けている者	両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者	視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者	左記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	両耳の平均聴力レベルが60dB以上の者	左記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者	上肢の機能障害により筆記をすることができない者又は困難な者	下肢の機能障害により歩行をすることができない者又は困難な者	左記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	慢性的呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー一症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者	その他の病気による体調不良等で配慮を必要とする者
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309

㉒ この欄に、受験に際して配慮を希望する理由（症状及び学校等の授業での状況等）を詳細に記入してください。

㉓ 視覚に関する配慮事項											
点字解答（別室）		点字器等の試験場での保管	文字解答（別室）		拡大文字問題冊子の配付		拡大鏡等の持参使用	窓側の明るい座席を指定	照明器具の持参使用	照明器具の試験場側での準備	
試験時間1.5倍延長	リスニングにおける延長方式		試験時間1.3倍延長	試験時間延長なし	14ポイント	22ポイント（別室）					
連続方式 ICプレーヤー	音止め方式 CDプレーヤー	連続方式 ICプレーヤー	音止め方式 CDプレーヤー	ICプレーヤー							
□1	□2	□	□1	□2	□	□1	□2	□	□	□	□
310	311	312	313	314	315	316	317	318			

㉔ 聴覚に関する配慮事項													
手話通訳士等の配置＋注意事項等の文書による伝達		座席を前列に指定	補聴器又は人工内耳の装着	リスニングの免除	リスニングにおける音声聴取の方法（どれか一つを選んでください。）				大学入試センター記入欄2				
連続方式 ICプレーヤー	音止め方式 CDプレーヤー				イヤホン又はヘッドホンの持参使用	CDプレーヤーのスピーカーから直接音声を聞く方式（別室）	補聴器を外してイヤホンを使用	補聴器又は人工内耳のイヤホンに接続したコードを接続	ヘッドホンの貸与	⑳	㉑	㉒	㉓
□1	□2	□	□	□	□1	□2	□3	□4	□5	□	□	□	□
319	320	321	322	323	324	325	326	327					

㉕ 肢体不自由・病弱に関する配慮事項、その他の配慮事項																		
チェック解答（別室）		代筆解答（別室）		試験室入口までの付添者の同伴	試験室における介助者の配置	トイレに近い試験室での受験			1階又はエレベーターが利用可能な試験室での受験	特製機・椅子の持参使用	特製機・椅子の試験場側での準備	車椅子の持参使用	杖の持参使用	試験場への乗用車での入構	座席を試験室の出入口に近いところに指定	別室の設定	リスニングにおいて途中退室するため音声を一時的に停止（別室）	
試験時間1.3倍延長	リスニングにおける延長方式	試験時間延長なし	試験時間延長なし			形態は問わない	洋式	障害者用										
連続方式 ICプレーヤー	音止め方式 CDプレーヤー	連続方式 ICプレーヤー	音止め方式 CDプレーヤー	連続方式 ICプレーヤー	音止め方式 CDプレーヤー	連続方式 ICプレーヤー	音止め方式 CDプレーヤー											
□1	□2	□	□1	□2	□	□	□	□	□1	□2	□3	□	□	□	□	□	□	□
328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343			

㉖ 発達障害に関する配慮事項																																																																																																																																																												
マークシート解答（別室）		チェック解答（別室）		拡大文字問題冊子の配付		注意事項等の文書による伝達	別室の設定	大学入試センター記入欄3																																																																																																																																																				
試験時間1.3倍延長	リスニングにおける延長方式	試験時間1.3倍延長	試験時間延長なし	14ポイント	22ポイント（別室）																																																																																																																																																							
連続方式 ICプレーヤー	音止め方式 CDプレーヤー	連続方式 ICプレーヤー	音止め方式 CDプレーヤー	連続方式 ICプレーヤー	音止め方式 CDプレーヤー																																																																																																																																																							
□1	□2	□1	□2	□	□1	□2	□	□																																																																																																																																																				
344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500

㉗ その他の希望配慮事項等（記載事項以外で、希望する配慮事項があれば簡潔に記入してください。）

受験に際して希望する配慮事項（障害等の種類や程度にかかわらず必要な配慮事項を申請できます。）

※ 受験上の配慮申請のために提出された書類は一切返却できませんので、注意してください。

出願前申請期間（8月2日(月)～9月24日(金)）  
に受験上の配慮を申請した場合は、この申請済届を  
出願時（9月27日(月)～10月7日(木)）に必ず出願  
書類とともに提出してください。

令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト  
受験上の配慮出願前申請済届

大学入試センター記入欄

—

※ 大学入試センター記入欄には何も記入しないでください。

**過年度のものなので、  
使用しないでください**

① 高等学校等コード  
(受験案内 p.57～75 参照)

② 出身学校名

高等学校  
学校

③ 氏名

フリガナ  
漢字

④ 卒業見込み・  
卒業の別

1 卒業見込み  
2 卒業

⑤ 性別

1 男  
2 女

⑥ 生年月日

1 昭和 年 月 日  
2 平成

独立行政法人大学入試センター



# 診 断 書 ( 視 覚 障 害 関 係 )

この診断書は、大学入学共通テストにおいて志願者の希望する受験上の配慮事項を審査するための資料となりますので、できるだけ具体的に記入してください。

氏 名	昭 和 年 月 日生 平 成
住 所	
診断名	
記入について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「視力」、「現症」の各欄を必ず記入してください。 また、現症欄には、視力・視野以外の視機能障害やその他参考となる経過・現症も記入してください。 (記入しきれない場合は、裏面に記入してください。)</li> <li>○ 試験時間延長を必要とし、視野障害がある場合は、裏面の「視野の現症」を記入の上、必ず視野コピーを添付してください。</li> <li>○ 病気や障害等のため、「感染症に罹患すると重症化の可能性がある」や「免疫力が低下している」等により、別室又は個室での受験が必要な場合は、その具体的な理由を現症欄に記入してください。</li> </ul>
視 力	右： _____ ( _____ x _____ D Cyl _____ D Ax _____ ) 左： _____ ( _____ x _____ D Cyl _____ D Ax _____ ) 両眼： _____ (矯正： _____ )

志願者の希望する全ての受験上の配慮事項について、それぞれ必要とする具体的な理由を、前眼部・中間透光体・眼底等の所見などを含めて必ず記入してください。

過年度のもののなので、  
使用しないでください

現 症

上記のとおり診断する。

令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

医師の氏名

印

(診療科名 \_\_\_\_\_ )

医師の勤務先

所在地・電話番号

< 診断書は裏面に続きます >

- 試験時間延長を必要とし、視野障害がある場合に記入してください。
- 視野コピーを必ず添付してください。
- ゴールドマン型視野計を用いた視野図を添付する場合には、どのイソプタが I/4 の視標によるものか、I/2 の視標によるものかを明確に区別できるように記載してください。
- 障害者手帳交付のための認定基準(平成 30 年 7 月 1 日施行)に準じて測定してください。

ゴールドマン型視野計

(1) 周辺視野の評価 (I/4)

① 両眼の視野が中心 10 度以内

	上	内上	内	内下	下	外下	外	外上	合計	
右										度(≤80)
左										度(≤80)

② 両眼による視野が 2 分の 1 以上欠損 ( はい ・ いいえ )

(2) 中心視野の評価 (I/2)

	上	内上	内	内下	下	外下	外	外上	合計	
右									①	度
左									②	度

両眼中心視野角度 (I/2) ( (①と②のうち大きい方) × 3 + (①と②のうち小さい方) ) / 4 = [ ] 度

自動視野計

(1) 周辺視野の評価

両眼開放エスターマンテスト 両眼開放視認点数 [ ] 点

(2) 中心視野の評価 (10-2 プログラム)

右 ③ 点(≥26dB)

左 ④ 点(≥26dB)

両眼中心視野視認点数 ( (③と④のうち大きい方) × 3 + (③と④のうち小さい方) ) / 4 = [ ] 点

(現症記入欄)

過年度のもののなので、  
使用しないでください

(キリトリ線)



# 診 断 書 ( 聴 覚 障 害 関 係 )

この診断書は、大学入学共通テストにおいて志願者の希望する受験上の配慮事項を審査するための資料となりますので、できるだけ具体的に記入してください。

氏名		昭和 平成	年	月	日生						
住所											
診断名											
記入について	<input type="radio"/> オージオグラムは必ず記入又は添付してください。 <input type="radio"/> 補聴器を使用している場合は、その種類・型式を記入してください。 <input type="radio"/> 聴力障害の程度が軽度であっても、語音聴取能力が低下している場合は、語音明瞭度検査結果も提出してください。 <input type="radio"/> 病気や障害等のため、「感染症に罹患すると重症化の可能性がある」や「免疫力が低下している」等により、別室又は個室での受験が必要な場合は、その具体的な理由を現症欄に記入してください。										
平均聴力レベル	右	dB	左	dB	( 分法による )						
補聴器	種類										
	型式										
(記入しきれない場合は、裏面に記入してください。)		オージオグラム									
(検査伝票を貼り付ける場合は、裏面を使用してください。) 測定者氏名 _____ 測定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日		125 250 500 1000 2000 4000 8000									
現 症	志願者の希望する全ての受験上の配慮事項について、それぞれ必要とする具体的な理由を、必ず記入してください。	-20									
		-10									
		0									
		10									
		20									
		30									
		40									
		50									
		60									
		70									
80											
90											
100											
110											
		周波数 (Hz)									
		マスキング	右	dB	左	dB					

過年度の受験上の配慮事項について、それぞれ必要とする具体的な理由を、必ず記入してください。

上記のとおり診断する。

令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

医師の氏名

印 (診療科名 \_\_\_\_\_ )

医師の勤務先

所在地・電話番号

(キリトリ線)

(現症記入欄)

過年度のものなので、  
使用しないでください

(キリ下線)

# 診断書（ 肢体不自由関係 ）

この診断書は、大学入学共通テストにおいて志願者の希望する受験上の配慮事項を審査するための資料となりますので、できるだけ具体的に記入してください。

氏名	昭和 平成 年 月 日生		
住所			
診断名	(脳性麻痺の場合は生理学的病型等、また脊髄損傷の場合は損傷高位等も記入してください。)		
	疾病・外傷発生年月	年	月
記入について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体幹の機能障害（特に座位保持能力、「読み」「書き」における姿勢等）、上肢の機能障害（書字能力等）、合併症その他参考となる経過・現症を記入してください。（記入しきれない場合は裏面に記入してください。）</li> <li>○ 上肢の機能障害により、「チェック解答」、「試験時間延長（1.3倍）」を必要とする志願者については、裏面の「●志願者自署欄」、「●マーク塗りつぶし欄」、「●チェック欄」の各欄を医師の立会いのもと本人が記入してください。また、それぞれの所要時間を計測し、医師が記入してください。書字能力等の程度を、大学入試センターにおける審査の参考とします。 記入時の志願者の様態についても、必要に応じて現症欄に記入してください。 なお、上肢の機能障害が重度で、書字等不能な場合は、その旨を医師が各欄に記入してください。</li> <li>○ 「試験時間延長（1.3倍）」、「代筆解答」又は「別室の設定」を必要とする場合は、その理由を記入してください。なお、「別室の設定」において、特に個室（試験室に受験者1名）を必要とする場合は、その明確な理由についても併せて詳しく記入してください。（記入しきれない場合は、裏面に記入してください。）</li> </ul>		
	<p>病気や障害等のため「感染症に罹患すると重症化の可能性がある」や「免疫力が低下している」等により、別室又は個室での受験が必要な場合は、その具体的な理由を記入してください。</p> <p>志願者の希望する全ての受験上の配慮事項について、それぞれ必要とする具体的な理由を、必ず記入してください。</p>		
症			
<p>上記のとおり診断する。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>医師の氏名 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">印</span> (診療科名 )</p> <p>医師の勤務先</p> <p>所在地・電話番号</p>			

過年度のものなので、使用しないでください

〈 診断書は裏面に続きます 〉

- 上肢の機能障害により、「チェック解答」、「試験時間延長（1.3倍）」を必要とする場合は、以下の欄を医師の立会いのもと、志願者が記入してください。なお、各欄の所要時間は医師が記入してください。
- 志願者が書字等不能な場合は、その旨を医師が各欄に記入してください。

●**志願者自署欄** ※志願者が氏名を記入してください。

●**マーク塗りつぶし欄**  
※鉛筆で全て塗りつぶしてください。

①②③④⑤

○所要時間（ ）秒

○所要時間（ ）秒

●**チェック欄** ※1～5の全ての枠内に「レ」を記入してください。難しいようであれば「○」、「×」、「/」で構いません。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

○所要時間（ ）秒

（現症記入欄）

過年度のものなので、  
使用しないでください

（キリトリ線）

## 診断書（病弱関係・その他）

この診断書は、大学入学共通テストにおいて志願者の希望する受験上の配慮事項を審査するための資料となりますので、できるだけ具体的に記入してください。

氏名	昭 和 年 月 日生 平 成
住所	
診断名	
記入について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「試験時間の延長（1.3倍）」又は「別室の設定」を必要とする場合は、その理由を記入してください。なお、「別室の設定」において、特に個室（試験室に受験者1名）を必要とする場合は、その明確な理由についても併せて詳しく記入してください。（記入しきれない場合は、裏面に記入してください。）</li> <li>○ 試験時間延長を必要とする場合、心理検査等、試験時間延長の必要性を示した客観的な資料があれば添付してください。</li> <li>○ 病気や障害等のため、「感染症に罹患すると重症化の可能性がある」や「免疫力が低下している」等により、別室又は個室での受験が必要な場合は、その具体的な理由を記入してください。</li> </ul> <p>志願者の希望する全ての受験上の配慮事項について、それぞれ必要とする具体的な理由を、必ず記入してください。</p>
<p><b>過年度のものなので、使用しないでください</b></p>	
<p>上記のとおり診断する。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>医師の氏名</p> <p style="text-align: right;">印 （診療科名）</p> <p>医師の勤務先</p> <p>所在地・電話番号</p>	

（キリトリ線）

(現症記入欄)

過年度のものなので、  
使用しないでください

(キリ下線)

## 診断書（発達障害関係）

この診断書は、大学入学共通テストにおいて志願者の希望する受験上の配慮事項を審査するための資料となりますので、できるだけ具体的に記入してください。

氏名		昭和 平成	年	月	日生
住所					
診断名	主診断名	(学習障害, 注意欠陥多動性障害, 自閉症, アスペルガー症候群, 広汎性発達障害等)			
	合併診断名				
記入について	記入について	<input type="checkbox"/> 「読み」「書き」等における配慮等及びその必要性を、できるだけ具体的に記入してください。 (記入しきれない場合は、裏面に記入してください。) <input type="checkbox"/> 病気や障害等のため、「感染症に罹患すると重症化の可能性がある」や「免疫力が低下している」等により、別室又は個室での受験が必要な場合は、その具体的な理由を記入してください。			
	現	志願者の希望する全ての受験上の配慮事項について、それぞれ必要とする具体的な理由を、必ず記入してください。			
心理・認知検査や行動評定等	記入について	<input type="checkbox"/> 複数の検査等を記入する場合は、裏面に記入してください。 <input type="checkbox"/> 試験時間延長を必要とする場合、「心理・認知検査や行動評定等」以外に、その必要性を示した客観的な資料があれば添付してください。			
	名称:				
	測定日:	年	月	日	(測定日は、原則として申請時の3年以内とする。)
上記のとおり診断する。 令和 年 月 日					
医師の氏名		印 (診療科名)			
医師の勤務先					
所在地・電話番号					

過年度のものなので、  
使用しないでください

(キリトリ線)

(現症記入欄)

過年度のものなので、  
使用しないでください

心理・認知検査や行動評定等記入欄)

名称：

測定日： 年 月 日

(キリトリ線)



# 状況報告書 (試験時間延長(1.3倍))

氏名		昭和 平成	年	月	日生
住所					
在学期間	昭和 平成 令和	年	月から	昭和 平成 令和	年
					月まで
記入について	<input type="radio"/> 試験時間延長(1.3倍)を必要とする理由を詳しく記入してください。 (記入しきれない場合は、裏面に記入してください。) <input type="radio"/> 高等学校等に在籍していない場合は、保護者等が高等学校等以外の教育機関等における状況等及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。 <input type="radio"/> 発達障害又は代筆解答により試験時間延長(1.3倍)を必要とする場合は、この状況報告書を提出する必要はありません。 <input type="radio"/> 特記すべき事項があれば、裏面の(その他記入欄)に記入してください。				
【試験時間延長(1.3倍)を必要とする理由(記入しきれない場合は、裏面に記入してください。)]					
<b>過年度のものなので、 使用しないでください</b>					
【該当する項目の数字を○で囲み、必要事項を記入してください。】					
1 高等学校等で用いる机や椅子等は？ (1) 通常の机と椅子を用いている。 (2) 特製の机と椅子を用いている。 (3) その他：ベッド等 ( )					
2 書字に要する時間は？ (1) 一般の生徒と変わらない。 (2) 一般の生徒より長くなる。 (3) その他 ( )					
3 読みに要する時間は？ (1) 一般の生徒と変わらない。 (2) 一般の生徒より長くなる。 (3) その他 ( )					
4 定期試験等において、解答に要する時間は？ (1) 一般の生徒と同一時間である。 (2) 一般の生徒より長くなる。 (3) その他 ( )					
<b>上記のとおり状況等を報告する。</b> 令和 年 月 日  高等学校等の名称・所在地  <div style="text-align: right;">             校長名 _____ 職印           </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">             記載責任者(志願者との関係・氏名) _____ 印           </div>					

【試験時間延長（1.3倍）を必要とする理由】

過年度のものなので、  
（その他記入欄）  
使用しないでください

（キリトリ線）

# 状況報告書（リスニング免除）

氏名		昭 平	和 成	年	月	日生
住所						
記入について	<p>○ この報告書は、リスニングの免除を申請するに当たり、志願者の高等学校等でのリスニングの学習状況やリスニングの試験の実施状況等を具体的に記入していただくもので、受験上の配慮に対する意見や要望等を記入していただくものではありません。</p> <p>○ 高等学校等に在籍していない場合は、保護者等が高等学校等以外の教育機関等における状況等及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。</p>					
<p>(該当する項目の数字を○で囲み、必要事項を記入してください。)</p> <p>リスニングの学習状況</p> <p>1 リスニングの授業は行っていますか？</p> <p>(1) 授業は行っている。</p> <p>(2) 授業は行っていない。</p> <p>2 リスニングの授業は受けていますか？</p> <p>(1) 授業は受けている。</p> <p>(2) 授業は免除している。</p> <p>3 学習に当たって、配慮は行っていますか？</p> <p>[2で「(1) 授業は受けている。」に○をした場合のみ記入]</p> <p>※ 記入しきれない場合は、裏面に記入してください。</p>						
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; color: red; font-size: 2em; font-weight: bold;">                     過年度のものなので、 使用しないでください                 </div>						
<p>リスニングの試験の実施状況</p> <p>[2で「(1) 授業は受けている。」に○をした場合のみ記入]</p> <p>4 リスニングの試験は受けていますか？</p> <p>(1) 試験は受けている。</p> <p>(2) 試験は免除している。</p> <p>5 リスニングの試験の実施に当たって、何か配慮は行っていますか？</p> <p>※ 記入しきれない場合は、裏面に記入してください。</p>						
<p><b>上記のとおり状況等を報告する。</b></p> <p>令和      年      月      日</p> <p>高等学校等の名称・所在地</p> <p style="text-align: right;">校長名 _____ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">職印</span></p> <p style="text-align: right;">記載責任者（志願者との関係・氏名） _____ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">印</span></p>						

(記入欄)

過年度のものなので、  
使用しないでください

(キリ下線)

# 状況報告書（代筆解答）

氏名		昭和 平成	年	月	日生
住所					
在学期間	昭和 平成 令和	年	月から	昭和 平成 令和	年 月まで
記入について	<input type="checkbox"/> 代筆解答を必要とする理由を詳しく記入してください。解答手段として機器の使用を必要とする場合は、その理由についても併せて記入してください。 <input type="checkbox"/> 試験時間延長を必要とする場合は、その理由についても詳しく記入してください。 <input type="checkbox"/> 高等学校等に在籍していない場合は、保護者等が高等学校等以外の教育機関等における状況等及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。				
【代筆解答及び試験時間延長を必要とする理由（記入しきれない場合は、裏面に記入してください。）】					
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; color: red; font-size: 2em; font-weight: bold;">             過年度のものなので、              使用しないでください           </div>					
【該当する項目の数字を○で囲み、必要事項を記入してください。】					
1 定期試験等における解答時間等は？					
(1) 一般の生徒と同一時間である (2) 一般の生徒の約 ( ) 倍である					
(3) 一般の生徒と同一時間であるが、問題数を減らしている。					
2 定期試験等における解答方法は？					
(1) 代筆解答をしている。 代筆者（志願者との関係）( )					
(2) 機器（音声出力による意思伝達装置、パソコン等）を使用している。 使用機器名 ( ) 補助具等 ( )					
3 志願者との意思疎通は？					
(1) 一般の教員でも可能である。 (2) 特別支援学校の教員等であれば可能である。					
(3) その他 ( )					
上記のとおり状況等を報告する。					
令和 年 月 日					
高等学校等の名称・所在地					
校長名 _____					職印
記載責任者（志願者との関係・氏名） _____					印

【代筆解答及び試験時間延長を必要とする理由】

過年度のものなので、  
使用しないでください

（キコ下線）

# 状況報告書（別室の設定）

氏名	昭和 平成	年	月	日生
住所				
記入について	<p>○ 別室での受験を必要とする理由を詳しく記入してください。</p> <p>○ 特に個室（試験室に受験者1名）を必要とする場合は、裏面にその明確な理由を詳しく記入してください。</p> <p>○ 高等学校等に在籍していない場合は、保護者等が高等学校等以外の教育機関等における状況等及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。</p> <p>○ 発達障害により別室を必要とする場合は、状況報告書（発達障害関係）に別室の設定の記入欄がありますので、提出する必要はありません。</p>			
<p>該当する項目の数字を○で囲み、必要事項を記入してください。 記入しきれない場合は、裏面のその他記入欄に記入してください。</p>				
<p>1 別室の設定を必要とする理由を以下に記入してください。なお、特に個室（試験室に受験者1名）を必要とする場合は、裏面にその明確な理由についても併せて詳しく記入してください。</p>				
<p>2 授業において何か配慮を行っていますか？</p> <p>(1) 配慮をしている。 (2) 配慮をしていない。 ※「(1) 配慮をしている。」を選択した場合は、以下に具体的な配慮事項を記入してください。</p>				
<p>3 定期試験等において配慮を行っていますか？</p> <p>(1) 配慮をしている。 (2) 配慮をしていない。 ※「(1) 配慮をしている。」を選択した場合は、以下に具体的な配慮事項を記入してください。</p>				
<p>4 その他学校生活等において、配慮を行っている場合は、以下に具体的な配慮事項を記入してください。</p>				
<p>上記のとおり状況等を報告する。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>高等学校等の名称・所在地 校長名 _____ 職印</p> <p>記載責任者（志願者との関係・氏名） _____ 印</p>				

過年度のものなので、  
使用しないでください

キリトリ線

【個室を必要とする理由】

※個室（試験室に受験者1名）を必要とする明確な理由を詳しく記入してください。

過年度のものなので、  
使用しないでください

(その他記入欄)

(キリトリ線)



# 状況報告書（発達障害関係）

氏名			昭 平	和 成	年	月	日生
住所							
在学期間	昭和 平成 令和	年	月から	昭和 平成 令和	年	月まで	
記入について	<p>○ 以下の受験上の配慮事項のうち必要とするものを○で囲み、それぞれについて、必要とする理由を詳しく記入してください。受験上の配慮申請書で希望した配慮事項については、必ず理由を記入してください。</p> <p>○ 高等学校等で行った配慮については、裏面に記入してください。</p> <p>○ 高等学校等に在籍していない場合は、保護者等が高等学校等以外の教育機関等における状況等及び専門家等による所見を可能な範囲で記入してください。</p> <p>○ 以下の受験上の配慮事項を希望する場合でも、他の状況報告書（「試験時間延長（1.3倍）」、「別室の設定」及び「リスニング免除」）を提出する必要はありません。</p>						
配慮事項（必要とするもの）	試験時間の延長（1.3倍）	必要とする理由					
		※ 試験時間の延長が許可された場合、別室となりますが、延長が許可されなかった場合でも、別室を必要とする場合は、下記の別室の設定欄に必要とする旨とその理由を記入してください。					
困り、理由を記入してください。	チェック 解答 の 使用	※ 必要とする理由を記入してください。また、高等学校等で使用している教科書や定期試験等での状況（拡大コピーをして配付しているなど）についても併せて記入してください。					
	拡大文字 問題冊子 の 配付						
困り、理由を記入してください。	注意事項 の文書 による 伝達						
	別室の 設定	※ 必要とする理由を記入してください。特に個室（試験室に受験者1名）を必要とする場合は、その明確な理由についても併せて詳しく記入してください。					
困り、理由を記入してください。	その他 (リスニング の免除等)						
	上記のとおり状況等を報告する。						
令和 年 月 日							
高等学校等の名称・所在地				校長名		職印	
記載責任者（志願者との関係・氏名）							
印							

過年度のものなので、  
使用しないでください

キリトリ線

〈 状況報告書は裏面に続きます 〉

【高等学校等で行った配慮について、「している」又は「していない」を○で囲んでください。】

1 「読み」「書き」等における配慮

- (1) している ※「している」を選択した場合は、その具体的な内容を、下記に必ず記入してください。
- (2) していない

2 定期試験等の実施・評価等における配慮

- (1) している ※「している」を選択した場合は、その具体的な内容を、下記に必ず記入してください。
- (2) していない

3 個別の指導計画の作成

- (1) している ※「している」を選択した場合は、必ず申請書・診断書・本書とともに提出してください。
- (2) していない

4 個別の教育支援計画の作成

- (1) している ※「している」を選択した場合は、必ず申請書・診断書・本書とともに提出してください。
- (2) していない

5 その他の支援・配慮

- (1) している ※「している」を選択した場合は、その具体的な内容を、下記に必ず記入してください。
- (2) していない また、各種アセスメント結果等についても下記に記入してください。

【高等学校等で行った配慮の具体的な内容（上記（1, 2, 5）で「している」を選択したものについて、必ず記入してください。）】

1 「読み」「書き」等における配慮

過年度のものなので、  
使用しないでください

2 定期試験等の実施・評価等における配慮

5 その他の支援・配慮及び各種アセスメント結果等